都市化地域水環境改善実証調査「酒田地区」の概要

○ 関係機関が連携協力のもと、既存の農業用水・農業用施設を活用して試験通水を実施しました。
○ 農業用水の調整により小牧川への浄化用水（環境用水）の本格導水が可能となりました。

調査目的

小牧川の水環境改善手法及び評価結果等について検討

実施体制

『小牧川水環境改善連絡協議会』を設置

東北農政局 西奥羽土地改良調査管理事務所	最上川下流右岸 土地改良区連合
東北地方整備局 酒田河川国道事務所	大町溝土地改良区
山形県	酒田市小牧川をきれいにする会
酒田市	



調査期間

平成14～16年度

調査内容

（１）現況及び導水後の水質調査、生態系調査等
（２）既存の農業用水・農業用施設を活用して試験通水
（３）試験導水結果の評価を踏まえた水環境改善方策のとりまとめ

導水試験結果

○国営最上川下流沿岸地区の農業用水（非かんがい期の水路維持用水）の排水先の一部を変更して小牧川に導水
○非かんがい期に概ね０．３m^3/sの導水により水質改善目標値（BOD:５．０mg/l以下）を達成

